

## 家紋の意味・由来を伝承するための図録

### 蛇腹折を活用したエディトリアルデザイン

A2201433 福西友実

#### 研究の背景

日本人の美意識が結集された日本の伝統文様(以下文様)。そんな文様の洗練されたデザインに着目し、その魅力を多くの人に伝えたいという思いから制作を始めた。家紋をはじめとした文様は今日でも日用品やアクセサリ、ファッションなどさまざまなモノへの使用が確認できる。しかし、文様の表面的な美しさばかりが注目され、文様の持つ奥深い魅力(意味・由来等)が世間一般に広く認知されていないことが現状としてあげられる。本研究では、文様の中でもデザイン性に優れ、誰もが身近に存在を感じることでできる“家紋”を題材に取り上げた。これは、親しみやすい題材を導入に用いることで受け手の関心を惹きつけやすくするためである。このような理由から、家紋を題材に本研究の成果として家紋の意味・由来に触れる端緒となるような図録を制作する。

#### 研究の目的

- 家紋の意味・由来を広める端緒をつくること
- 誰にでも伝わる明解なエディトリアルデザインの実践

上記の目的を踏まえ、家紋を見る楽しさを感じることでできる図録を制作することが本研究の目標である。それぞれにあった見方で家紋を楽しんでもらい、そこから家紋の意味・由来といった魅力、ひいては文様をはじめとした日本の美に興味を持つきっかけを作りたい。そして、真の魅力を理解した上で、改めて現代に色褪せることなく生き続ける文様を楽しんでもらうことが本研究の最大の目的である。

#### 研究のプロセス

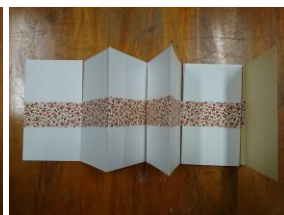
- 文様に関する調査
- 蛇腹折製本での制作を決定
- 蛇腹折の特性を理解するための制作(簡易絵本等)
- 成果物に反映する内容を文様の中から(家紋)に限定
- 製本・誌面デザインのサンプル制作



▲簡易絵本(蛇腹折の特性を理解するための制作)



▲製本サンプル 1



▲製本サンプル 2



▲誌面デザインサンプル 1



▲誌面デザインサンプル 2

- デザインや家紋に関するアンケート調査(学外)
- アンケートの調査内容をフィードバックした誌面デザインの構成
- 製本作業・外箱制作

## 成果物

図録 ○蛇腹折 ○新書判サイズ 103×182mm … 計5冊(自然現象・花Ⅰ・花Ⅱ・動物・道具)を外箱に納める  
 構成・構造について … 本研究において成果物として図録を制作するにあたり、家紋の魅力を一時的に感じてもらうことが最低条件と考えた。そのため、まず見る人に家紋本来の美しさを楽しんでもらえるよう、大きさや配置など誌面構成に重点をおいて制作を進めた。特に、本研究において重要な家紋の画像や意味・由来の文字は、学外でのアンケートを元に最適なサイズを使用している。また、1ページずつじっくり読む、広げて眺める等それぞれの楽しみ方で観賞できるように製本に蛇腹折を用い自由度を設けている。さらに、受け手にとって親しみやすい分野から家紋に触れてもらおうと考え、独自に自然現象・花・動物・道具の4つの分類を設けて編集を行った。

▼図録の誌面デザイン … 以下三つが基本的な構成内容となっている。



▲ ○家紋の原型 ○意味・由来  
 ○主な使用例



▲ ○家紋の代表例  
 ○イラストを用いたモチーフの解説



▲ ○家紋の代表例

## 考察

視覚的に家紋の魅力伝えるため、真に必要な要素のみでの誌面構成を試行錯誤する中で、ユーザビリティに富んだ構成を行うためには受け手の立場に立って客観的な意見を取り入れたり、内容の優先順位を明確にしたりすることが不可欠であると感じた。

本研究では図録の制作に手製本を用いたため、図録の構造(蛇腹折・外箱)など業者委託を想定した印刷出版に対する配慮が不十分となってしまったことが反省のひとつである。今後デザインに携わる際は、実際に印刷出版を行うことを想定し、構造や誌面構成に十分配慮して制作しなければならないと考えた。